

アルファサード株式会社が、日本語のニュースを やさしい日本語で届けるウェブサイト「やさいちウォッチ」を公開

アルファサード株式会社（以下、「アルファサード」という。）が、全国の自治体や企業、団体・グループ等が発信する日本語のニュースを独自に集め、やさしい日本語に言い換えて紹介する新しいメディア「やさいちウォッチ」を公開しました。

やさいちウォッチ

ふりがな

わかり書き

シック体

文字の見た目を変更

☰

検索



やさいちウォッチ

やさしい日本語についての情報をやさしい日本語で紹介

新しい記事

新しい記事の一覧



東京都港区ウェブサイト
「みなと防災フェスタ」をやっています

2022年1月21日

ウェブサイトでの防災の勉強をします。ウェブサイトは、やさしい日本語で書いてあります。参加賞(参加したもらえる物)もあります。

続きを読む



鹿児島県国際交流協会
が、やさしい日本語の「防災ハンドブック」などを作りました

2022年1月20日

鹿児島県国際交流協会がつくった「防災ハンドブック」と、「多言語表示シート」を紹介します。

続きを読む



兵庫県明石市で、やさしい日本語を勉強できるイベントがあります

2022年1月19日

明石文化国際創生財団が、イベントをします。やさしい日本語を勉強することができます。

続きを読む

やさしい日本語とは、普通の日本語よりも簡単で分かりやすい日本語のことです。やさしい日本語は、自治体・学校・医療機関などの多くの現場で、在留外国人をはじめ、高齢者や障害のある人への情報伝達やコミュニケーションに活用されています。

ウェブサイトは、「自治体・行政」「日本語教育」「製品とサービス」「やさしい日本語のニュース」「いろいろな会社とりくみ」「編集部コラム」「イベント・勉強会」の7つのカテゴリーに分類され、トップページではそれぞれの最新ニュースが「新しい記事」として紹介されています。「情報提供フォーム」もあり、誰でも自由に投

稿することができるようになっていきます（投稿の際には、アルファサードによる審査があります）。

やさしい日本語のふりがな・分かち書き（文の切れ目ごとに空白を入れる文書）は、ヘッダーにあるボタンで「表示」・「表示しない」を切り換えることができます。画面の文字（フォント）をゴシック体からUDデジタル教科書体へ変更することもできます。

やさしい日本語での記事作成には、アルファサードが開発した「伝えるウェブ」の技術を活用し、自動言い換え+手作業での調整を行っています。

「伝えるウェブ」は、語彙の制限、分かち書き、短い文章への分割、ふりがなの追加などの処理を機械学習によるAIが自動で行なう国内初のサービスで、ウェブページを自動でやさしい日本語化することができます。また、「やさしい日本語エディタ」では、印刷物や掲示物のやさしい日本語化もサポートしています。

この自動言い換え技術を利用した試作品アプリは、総務省と国立研究開発法人情報通信研究機構「NICT」が主催する第2回多言語音声翻訳コンテストの試作品（PoC）コンテストで、2020年3月に総務大臣賞を受賞しました。

アルファサードの担当者は、「語彙を制限したり、分かち書きやふりがなをテキストに追加していく作業は、通常のホームページ作成や印刷物作成と比べて多くの手間がかかります。「伝えるウェブ」を活用することで、その手間を大きく低減することができます。これまでも、東京都足立区役所をはじめ、自治体や民間企業で導入されています。」と話しています。また、「伝えるウェブ」によるやさしい日本語の分かりやすさについては、「外国人留学生にアンケート調査を実施したところ、85%が分かりやすくなったと回答しました。」としています。

アルファサードでは、令和4年3月末まで、「地方自治体」「地方自治体に準ずる地方公共団体」「医療機関(病院・診療所・医師会・医療に関係する公益財団法人、公益社団法人)」「教育機関(学校教育法第1条規定の学校または教育委員会)」「NGO/NPO」を対象に、「伝えるウェブ」を無料で利用できるキャンペーンを実施しています。

■「やさしちウォッチ」は以下から見ることができます。

URL：<https://watch.tsutaeru.cloud/>

■「伝えるウェブ」については、以下から確認できます。

URL：<https://tsutaeru.cloud/>

問い合わせ先

アルファサード株式会社

電話：06-6203-5702 ファクス：06-6203-5703

URL：<https://alfasado.net/index.html>